

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	保険年金課長	森 啓匡	
健福-50	実施事業	国民健康保険事業(特別会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	保険年金課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	鎌倉市国民健康保険被保険者
意図	被保険者の医療保障・健康事業活動を行い、市民の健康の保持増進を図る。
効果	市民の医療保険の向上及び福祉の増進を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・国民健康保険に加入している方が、万一病気やけがをした場合、医療機関に保険証を提示して一部負担金を支払い、診療を受けることができる。この国民健康保険事業の企画運営、保険給付、診療報酬、国民健康保険料の賦課・徴収を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	176,466人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	81,150世帯	
	事業の対象者数	44,764人	事業の対象者数	43,380人	
運営資源状況	決算値(千円)	21,157,514	当初予算(千円)	21,526,733	
	国県支出金	4,444,098	国県支出金	4,450,156	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	11,600,931	その他	11,744,617	
	一般財源	5,112,485	一般財源	5,331,960	
	人員配置数	17.3	人員配置数	16.8	
事業経費運営	人件費(千円)	131,862	人件費(千円)	132,491	
	総事業費(千円)	21,289,376	総事業費(千円)	21,659,224	
	市民1人当りの経費(円)	120,114	市民1人当りの経費(円)	122,739	
	対象者1人当りの経費(円)	475,591	対象者1人当りの経費(円)	499,291	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済
		○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市民生活に大きく寄与している事業であり、保険給付内容を低下させることはできず、国民健康保険の一人当たり医療費が増加傾向である中、保険料徴収率の向上や医療費の適正化を図り、出来る限り支出の増大を抑え、国民健康保険財政の安定化を図っていくため、現状維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成30年度の制度改正の具体的内容を踏まえつつ、県下トップレベルの保険料収納率を維持し、特定健診受診率の向上やより適切な重症化予防策により医療費の適正化を図り、国民健康保険財政の安定化を図ることで、保険制度のより適正な運用を行う。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険の安定的な財政面での運営の確保</li> <li>平成30年度の制度改正に対応した、鎌倉市の国民健康保険の運営方法の適正な改正</li> <li>特定健診受診率の向上</li> <li>データヘルス計画に基づく医療費データの適切な分析</li> </ul>	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<p>安定的な財政面の運営確保という点では、ペイジー口座振替等による口座振替の利用を積極的に推奨し、保険料滞納整理に努めたことにより、収納率の向上ができた。また、これまでの医療費通知やジェネリック通知をはじめ、県下では初の試みとなる柔道整復療養費等の独自審査を開始するなど、医療費の適正化にも努めた。</p> <p>平成30年度制度改正に向けては、システム改修、業務運用・体系改正の検討、高額療養費申請における領収書添付の省略などの事務改善を行い、着実に準備を進めた。</p> <p>特定健診では、人間ドック費助成、インセンティブ事業としてのスタンプラリーといった2つの事業を新規に開始し、受診率の向上に努めた。データヘルス計画に基づき医療情報分析を行い、引き続き、本市医療動向に注視した。</p>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<p>社会保険制度の対象拡大により就労して所得のある層の被保険者が減少し、替わって保険料の減免や軽減を受ける層が拡大していく中、一人当たりの医療費の支出が増加する傾向である。このような状況で国民健康保険を財政面で安定的に運営することが、国民健康保険運営での課題である。</p> <p>なお、具体的な課題としては、平成28年度から実施したスタンプラリーの応募者が見込みより少なかったため、より多くの人が応募しやすい仕組みづくりを行い、第二次データヘルス計画策定においては、重症化予防や特定健診受診率向上に資するように、焦点を絞った医療データ分析を行うことにより、被保険者の健康増進と医療費の適正化につなげたい。</p>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	国民健康保険料収納率(平成27年度)(単位:%)								
	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	94.12	93.92	90.55	89.03	90.87	91.87	92.29	93.01	90.53
比較事項	特定健康診査(国保連合会:平成28年度速報値)								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	32.5%	18.2%	29.3%	28.9%	41.8%	22.3%	36.2%	31.0%	21.00%
比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方

鎌倉市は、保険料収納率が県下の市でトップであり、十分な努力と成果が得られている。特定健診受診率は、平均以上であるが、33%前後を推移しており、受診率向上が難しい状況で取り組み方法の再検討が望まれる。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	特定健診受診率(鎌倉市集計)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
特定健診を受診することにより、国保被保険者本人が、自らの健康状態を把握し、健康の維持・増進に努めることで医療費の適正化が図られるとともに、指導対象となった被保険者には、健康指導が実施され同様の効果が期待できるため。	目標値				40.0					
	実績値	32.3	33.2	32.1						
	達成率									
指標の内容	保険料収納率					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
神奈川県下トップレベルの収納率であるが、更なる向上が可能であるため。	目標値				94.5	94.8	95.0			
	実績値	93.3	94.1	94.0						
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方

平成28年3月に策定した鎌倉市データヘルス計画(計画期間:平成28・29年度)において、特定健診受診率の目標を40%と定めている。